

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12040020

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事 業 優 先 度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	学校給食センター建設事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度～平成26年度		担 当 課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	雄武町学校給食センター建設		関 係 課	#N/A		
事業目標	1施設		ハート/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加 住民協働	無		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容		
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食センター建設 ・施設規模 延床面積 689㎡ ・鉄筋コンクリート造2階建 ・混合熱源型 ・給食数 500食対応 	実施設計委託	建設工事 厨房設備工事(備品購入含) 外構工事 工事監理委託 給食配送車購入 他	外構工事(舗装・路盤・排水)				
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	643,060	11,100	616,960	15,000	0	
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	43,239		43,239			
		道支出金	0					
		地方債	462,400		462,400			
		その他	0					
		一般財源	137,421	11,100	111,321	15,000		
	事業費(千円)	619,825	10,103	609,722	0	0		
関 連 事 項	特定財源の名称 学校施設環境改善交付金 過疎対策事業債 【評価・実績】	(実施内容等) 実施設計委託 9,765千円 用途地域建設許可申請 338千円 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 建築工事 539,579千円 外構工事 51,084千円 現況調査・工事監理 5,940千円 監理備品購入 149千円 給食配送車購入 12,475千円 その他 495千円 ※事務事業評価結果 A-継続/縮小	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果		
		前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		1施設			
		第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	91%	99%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
			全体達成率	2%	96%	96%	96%	96%
			事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	学校給食センター建設事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小中学校に在籍する児童・生徒及び教職員等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	新たな学校給食センターの整備								
【抱える課題やニーズは】	学校給食センターは施設及び設備の老朽化が激しく、また現行の学校給食衛生管理基準に適合していないことから、児童・生徒等への安全・安心な学校給食を提供するため、同基準に適合した施設整備が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな学校給食センターを整備することにより、学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供を実現する。	① 新施設の整備数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	学校給食衛生管理基準に適合した施設において学校給食を調理・提供することにより、給食の質の向上を図るとともに事故の発生を回避し、児童・生徒等の心身の健全な発達に寄与する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	学校給食センター建設工事	雄武小学校敷地内に新たな学校給食センターを建設した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	学校給食は、学校給食法に基づき学校設置者の責任において実施すべき性格を有していることから、学校給食衛生管理基準に適合した施設は行政が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおりに施設整備が完了し、学校給食衛生管理基準に適合した施設において学校給食を調理・提供することが可能となった。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	国庫補助や過疎債の活用により町の財政負担軽減に努めた他、用途地域における建設許可を得て雄武小学校の学校敷地内に建設することにより、土地の取得代金や給食の輸送コストを抑制した。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	学校給食センターは、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与するため、町内小中学校の児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することを目的として整備された施設であることから、公平性は保たれるものと判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりに施設整備が完了し、学校給食衛生管理基準に適合した施設において学校給食を調理・提供することが可能となった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/縮小		
本年度をもって施設の建築工事は完了し、残る外構工事及び備品購入については平成26年度予算の繰越明許により執行し、平成27年7月に完了する見込みである。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止